新約
魔法少女
PUELLA MAGI
ORIKO
MAGICA
おりこ☆マギカ
2
ムラ 黒江
2
PUELLA
MAGI
ORIKO
MAGICA
Volume
2
PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA
2

NEW TESTAMENT
PUELLA MAGI ORIKO MAGICA
sadness prayer
K.R. COMICS
「新約」魔法少女おりこ☆マギカ
2
芳文社

[新約]
魔法少女おりこ☆マギカ
sadness prayer
原案＝Magica Quartet　漫画＝ムラ黒江
PUELLA MAGI ORIKO MAGICA sadness prayer
MANGA TIME KR COMICS
2

うう…
うああああああ
知らなかったんだよぉ！織莉子の知り合いなんて！
許して…許して…
ごめんなさい助けて!!
キリカ！落ち着きなさい！
キリカのソウルジェムが危険だ

第8話
生まれ
変わったような
気分なんだ

チッ

優木沙々さん
逃げてもムダです

あなたの存在を私達は許しません

ったーくしつこいんですよリナさん
群れてねちねちイジワルしていんしつ——

テメェ…！
もう
お終いに
しましょう
さぁ
ソウルジェムを
こちらへ
あわわ…
そう
ですねぇ
潮時って
やつですかぁ
リナさん 命だけは
助けてくれません？
もちろんです
私達は非道では
ないですから
助けて
ーーっ！
な？

君達
何をしているんだ！
助けてください！
変な人達が急に襲ってきて…！
強盗か？警察を呼ぶぞ
おかしな格好して！
えっ
えっ
リナ まずいぞ 撤退しよう
ダッ
こら！待ちなさい!!
許しませんよ
優木い〜〜〜!!

亡くなられた浅古小巻さんと行方晶さんの葬儀が行われています
二人は見滝原市の工場付近で遺体で発見され
犯人の手掛かりは未だ見つからず周辺地域では不安の声があがっています
おばさん小巻ちゃんと晶ちゃんにお別れを言わせてもらってもいいですか？
……
美幸ちゃん御免なさいね
あなたの思い出の中の二人を覚えていてあげて
その方があの子達も喜ぶと思うから…

二人とも
見れたもんじゃ
ないんでしょ
だから
お棺開けられ
ないのよ
やめなよ！
そりゃあ
成金組のことは
気に食わないけど
だからって
殺された子のこと
悪く言うなんて
だめだよ
ごめん…
そうよね…
早く犯人
捕まると
いいね…

あ〜
ギく
んぐ？
ト
お
ボ
おおぉ
ギ
ガ
織莉子おかえり——っ

はい
織莉子の分
あ…
ありがとう
ねーねー
織莉子んちの
バラさー
あれいいよね
ザ！貴族！って
感じでさ
……

ごめんね

終わったことよ

終わった過ちを責めるより

これからの功績を期待したいわ

いま貴女の価値を決めつけることはしない

次はちゃんと
魔法少女だけ殺すよ
織莉子　私は今生まれ変わったような気分なんだ
いや
ど
気付いたんだよ
忘れていた願いに！
パ

それはきっと今私に溢れるこの感動だよ
すごく
大きく重くてそして軽やかで晴れやかだ
私の心は上等に富んでいるよ
誰にでも笑顔を振り撒けるし
誰だって刻めるさ
織莉子のためならね
きゃ
ぴとっ
織莉子早く命令しておくれよ

気持ちが
昂りすぎて
私 後ろ足が
跳ね上がっちゃうよ！

ぷっ
くすっ
後ろ足って…
猫じゃないいん
だから

今日は大人しく
帰りましょう
え〜〜〜
この新鮮な動力を
どこにぶつければ
いいのさ

じゃあ
家に来る？
ドッ
パン
その元気は
パンケーキに
ぶつければいいわ

うん！
うん！
うん！
ところでキリカ
すごく歩き辛いの
だけれど

キリカ
ん?
残念だけどパンケーキは中止ね

ええッ! 私何か悪いことした? 悲しいよ!
その代わりと言ってはなんだけど

「命令」よ

くっふふ
ふっふー
美緒さぁーん
一人でかかって
くるなんて
おバカさん
ですねぇ
仲間が来るまで
隠れてれば
いいのにィ
うるせえ!
優木
てめーはあたしが
片づけてやる
あたしは
リナほど
甘くない!
あれー?
リーダーの指示
無視ですかー?
そうですかー

双葉の仇は
あたしがとる
あいつはあたしの
仲間で大事な
親友だったんだ!
プ。
?
くふふふふ
いやね
あのキョドった地味子
友達なんて居たんだぁ
美緒さん
ナイスジョーク
なんて思いまして
くっふふふふ
ふふふふふ

ガッ!!

死ね

ギーん!
くらえ!

え？
へ？
ズ
ドサッ

…
ねえ
はっ はい？

これ誰？

お前が誰だよ!!

何処の誰かも知らないでブッ殺したのかよ？
キマってんのか？ヤバすぎだろ！

間違いないこいつ…

「魔法少女殺し」だ

危ないところでしたー助けていただいてありがとうございます
あのー何かお礼をしたいのですが

誰って訊いてるんだけどな

ひゃあ！

!?
そんなに
怯えなくても
いいのよ
魔法少女は
協力し合うもの
でしょう？
お話…
聞かせていただける
かしら？

P U E L L A M A G I
O R I K O M A G I C A
s a d n e s s p r a y e r

美緒・・・

なんで一人で戦ったんだ・・・！
美緒は私達の誰よりも優木を憎んでいた
それを考慮していなかった私のミスです

リナちゃんのせいじゃないよ！
・・・・・・
早急に優木を止めなければなりません

これ以上犠牲を増やしてはいけません
しつっこいんですよね～あの人達
妙な言いがかりつけてきたんですこ～しお仕置きしたらぁ
ハァ…
隣の市まで追ってくるんですよぉ
私は慎ましく魔法少女をやってただけなのに
で？
どん

第9話
わたしは
繰り返す、
この終末を

優木沙々が現れてからの風見野市の魔女被害者は爆発的に増えた

理由は彼女が魔女を使う魔法少女であり

自らの魔女に「餌を与えていた」からだ

私達風見野の魔法少女達は

優木の横暴を許さず対決した

同じ魔法少女として彼女を許すわけにはいきません
優木の戦力が落ちている今決着をつけてしまいましょう
美緒達のためにも

「うわ」とは何ですか何かやましいことでもあるのかしら？

いやいやいや全然！健全！

警官が多いようだが何かあったのでしょうか？

知らないの？

女子中学生が二人殺されてまだ犯人が捕まってないの

近隣の住民の不安の声が大きくて巡回を増員して警戒してるのよ

あなた達もこんな所でうろうろしてないで早く家に帰りなさい！

はっはいっ了解！

リナどう思う？

先程の殺人事件の話ですか
いやそうじゃなくて
最近ニュース見てないなぁと思いましたね
うわ…ひどい
「女子中学生二人が何者かに殺害され」
「一人は腰から切断」
「もう一人は数十箇所の裂傷と頭部を大きな刃物のようなもので貫通した傷跡がある」だって
刃物？
人間の頭を貫通するような巨大な刃物そして腕力は
日常的にそうあるものではないですね
なるほど
人の手によるものではないのかもしれません
やっぱり！優木の仕業か！
いえ少し早い

当時はまだ
優木は風見野に
いたはずです
じゃあ魔女が
やったのかな

いや…魔女なら
このような殺し方は
しないでしょう
「殺人」に
見えるような
やり方は

もしかすると
見滝原には
優木とは別の
恐ろしいモノが
いるのかも
しれません

ねえ
ささささささ
ねえってば
ささささささ
ささささささ

キリカさぁ～ん
私の名前は
「さ」は二つ
さ・さです
何度
言わせるん
ですかぁ？
まだ見つから
ないのかい
人見リナと
仲間達は
探してますよっ！
だから
負けるのさ
無能だね
織莉子もいないし
私は退屈だよ
でもこんなつまらない作業に
彼女を付き合わせるわけには
いかないからね
ストレスで
彼女の髪の一本でも
傷んだら大変だ
はぁ…
じゃあお前も
働けよ！
ま
私は言われるが
ままに
やるだけさ

君はグチを言うために織莉子と私の時間を刻々と削っていくのかい？

人見リナ

朱音麻衣

佐木京（みやこ）

この三人の排除に協力すればいいのね
えっ？
話が早い さすがです
ななななんでー？
あら 魔法少女は助け合うもの そう言ったでしょう？
あわわ
んー 織莉子の命令なら従うさ
沙々に協力しても何の得にも…
くふふっ
ほんとーに助かりますぅ
実はあの子達に風見野の家を押さえられちゃいましてー

手持ちの魔女をほとんど置いてきちゃったんですよ〜
なるほど
そうゆうことか
ならやり遂げよう
私は

私は
君の為に生まれ変わったんだから

な〜に言ってんですかぁ
キリカさんも手伝ってくださいー〜
街頭モニターばっか見て！

見滝原での
女子生徒殺害事件…
あっ
これって

依然凶器の特定はされていません
見滝原市ではこの事件を受けて警察官による巡回を強化し

キリカさんが
殺った魔法少女
でしたっけ
てか
キリカさんって
自分の成果
反芻しちゃう感じ
ですかぁ？
「何人殺し」とか
名乗っちゃったり
して〜？
このニュース
見てるとね
思い出すんだ

織莉子の
愛の深さを

友人を
殺した
私を

本当に
痛ましい事件ですね
早い解決を
望みます

こいつ…
ブッ壊れて
やがる…！

!!

リナ達を片づけたらとっととおさらばしちまおう…
こんなイカれたヤツ飼ってるなんてあの織莉子って女もロクなヤツじゃねえ！
きっ

これは
何度目の終末(予知)かしらね
やれやれ
気が触れそうになるわね
いや
もう触れているのかもしれない

キリカが
壊れた
ように

しかし
だからこそ

わたしは
繰り返す
この終末を

退いてはいけない
わたしは
このために
二人殺し
一人壊した
止まることは
許されない

先へ・・・
あと少し・・・
あそこまで
!!
あ・・・

見つけた……！

見つけたわ…
「守護者」…

P U E L L A M A G I
O R I K O M A G I C A
s a d n e s s p r a y e r

その後
わたしは何度も
彼女に阻まれた
ただの一度も勝つことは出来ず
彼女の姿すらあの時以来
見つけることは出来なかった

第10話
本当に
あの時
だったの
かな

なるほど
ありがとうございます
君達も気を付けた方がいい
はい
それと風見野は今どうなっているのでしょうか
それなら心配しなくていいよ
一人強い魔法少女がいる
それともう一人…見込みのある子がいてね
ドキッ
京？

麻衣 京 今の話聞きましたね

やっぱり接触しましたねぇ
キュゥべえさん
そりゃそーですよね
風見野の魔法少女がこっそり見滝原に来てるんだから
くふふ
運が良かったですよ～
あの時キュゥべえを見つけたおかげで
こうして楽々リナ達を見つけられました

本当に
運が良かった・・・・・・・・・よ

そうだね

キリカさぁーん
どこに電話してるんですかぁ
ってわかりますけどぉ～

織莉子さ～ん
沙々です～
あっ

奴らの所在も割れたことですし
今すぐ殺っちゃいましょうよぉ～
私達三人の力があれば余裕ですよ～
あぁあ

落ち着いて
沙々さん
結果を急いては
いけないいわ
貴女の魔法は
素晴らしいものよ
一人で多勢と
戦えるほどに
それでも
風見野の争いで
敗走してしまった
原因は
策を講じず
直接ぶつかって
しまったこと
どんな
戦いにも
戦略は必要よ
そして
時を待つ
ことも
わたしは
キリカも貴女も
傷ついて
欲しくないの
折角仲間に
なれたのだもの
かえええ
わたし達が
目指すのは
誰一人欠く
ことのない
完全な勝利よ

織莉子さん…

織莉子は洗脳して手下にしてやってもいいかな
キリカはいらねぇ!

それと沙々さん
頼んでおいたことだけど…

み…美国織莉子さんですか…?

ええ…
そうよ…
さてと
忙しく
なりますよ～
キリカさん
キリカさん？
なんで…
かってに
きるの？
へ？
なんで織莉子の
電話を勝手に
切・る・の!?

いいじゃないですか
しょっちゅう
顔合わせてんですから
さささささは
解ってない！
うがぁ!!
今日！
今かけた電話は
一生に一度
だろう！
も〜どんだけ
織莉子さんの
こと好きなん
です？
本当に
解ってないなぁ
好きなんて言葉を
私の感情の単位に
しようなんて

うわ
語り始めた
めんどくせぇ
そもそも
私と織莉子の
出会いはね…
……
ザザザザ

あれ？

あれ？
これでいいはず…だよな？
おかしいな
あれ？

はいはいっ
遊んでないで支度しますよ～
？
？

何言ってんだこいつ？

くっふふ～～～
がっつり殺っちゃいますよお！

なんだろう
この違和感
私と織莉子が
出会ったのは
本当にあの時
だったのかな

残念だよ
君には期待していたからね
小巻

……ッ！

凄いな
まだ動けるの
かい

……く……

く……

くろい

まほう…
しょうじょ…

「黒い魔法少女」か…
厄介なヤツが現れたな
普通の人間を平気で巻き込む魔法少女

優木に近いようですが「魔女の餌にするために殺す」優木より性質が悪い
それに美緒の死に方…
喉をかき切られていました
刃物による傷
その「黒い魔法少女」の仕業かも知れません
ちょっと待ってくれ
私達は魔女を探知してあそこに辿り着いたんだ
美緒は黒い魔法少女と魔女二つ相手に戦っていたのか？

あるいは
「魔女（優木）」と「黒い魔法少女」

前述の通り彼女は優木と倫理観が近い
優木は風見野で失った戦力を補充したい

この二人が接触し
同盟を組んだ可能性も否定できません

……
ねっねえ！リナちゃん！

作戦
考え直そうよ！
敵が
沙々ちゃんだけ
じゃないなら
危ないよ！

はい
なので今
考えているところです
そ…
そうじゃなくてさ…

風見野に
戻ろうよ！
風見野で
ゆっくり
話した方が
いいよ…

京
何言ってるんだ
どこで話したって
同じだろう？

それに今
優木を放っておいたら
また魔女を増やされる
解ってるけど…

わかってるけど……
でも…
京？
具合が悪いのか？
わ…
私は…！

パァァンッ
ド

なっ…!

うわ
派手ですねぇ
いいんですかぁ?
こんな雑に突っ込ませちゃって
いいのよ
奇襲はそれで仕留めるためにあるのではないのだもの

五人が四人になるのはそう痛手ではなくても

五人が三人になればどうなるか

こいつー！

麻衣！

ここではいけない場所を変えましょう

「三人いる」と考えるか

ダッダッダッダッ
非常口
それとも…
「二人死んだ」
と考えるか
奇襲はその本性を露わにしてくれるでしょう
見極めて崩す
第一手

なるほど
なるほど
さすがお嬢様
知的ですねぇ
ありがとう

あっ
そういえば
頼まれたアレ
やっときましたよ～
織莉子さん
ずいぶん回りくどいこと
するんですねぇ

お友達なのに
自分で呼ばないん
ですかぁ？
家まで知ってる
仲でしょぉ？

ふふっ

保護者が
厳しい子
なのよ

あれ…？
なんでわたし
こんな所に
いるんだろ…？
ここは何処？

PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA
sadness prayer

【新約】魔法少女おりこ☆マギカ

PUELLA MAGI ORIKO MAGICA

sadness prayer

11
こんなに
いい子に
してる
のに

優木沙々
黒い魔法少女(あのようなモノ)と手を組むとは堕ちましたね
くっふふふ～
リナさん強がり面白いですよーぉ
内心ビビりまくり？
いや間違いでしたね
元から貴女はクズでした
申し訳ありません
……ッ！
ゲロ吐いて死ねクソ女！

どうぞやってみてください

近付けるのならですが

あなたはどんな
魔法少女なのかしら
佐木京さん
そんなに
怯えなくても
いいのよ
わたしは戦うのは
得意ではないの
それよりわたしは
あなたとお話が
したいわ
え…

いまわたし達が
しているの争いは
わたしにとって
それほど重要なこと
ではないの

和解できれば
それに越したことは
ないと思うのだけれど…

わたしの言うことが信じられないのも無理はないわ
現にわたし達は争っているのだから
……
それでもあなたには解ってほしいの
わたしが強硬な手段をとってでも叶えたい願いを

リナと京は無事か？
よそ見注意ッ！

終わりかな

あれー…？
油断注意！だな

魔法少女殺しも
こんなものか
ギギギ…
ギッ
リナ達と
合流するか
優木の奴は
しぶとい
からな…
お母さん
見て見て
今日のテスト
私 クラスで一番
だったんだよ！
あとね！
体育の時間にね…

学児童死傷
暴走車が児童待機列に
入居眠り運転か
ああ…
ごめんね
マナ
ご飯
作るね…
違うよ
お母さん
私はお兄ちゃん
じゃないよ
リナだよ
お兄ちゃんは
もういないんだよ
ああ…
そうだ…
マナはもう
いないんだった
リナを
かばって…
リナのせいで
死んだんだった
ザ
ッ

くそったれが！
貴重な魔女
三つも潰しちゃった
じゃないですか
こちらも
魔力切れの
ようですね
パ
貧弱な貴女の
身ひとつ倒す
くらいなら
只の棒きれでも
十分に足ります

げふぁ
魔法少女は
力ある者
故に正しく
あるべきであり
貴女は排除
されるべき
存在です
……っ！
ホンっと
いけすかないですねぇ
リナさん

清く正しい
お利口さんトーク
ばっかしてますが
な〜んか中身
スッカスカ
なんですよねぇ
「今月の目標
みんななかよく」
みたいな
何が
言いたいの
ですか?
いやね
あんた
心からそれ
思ってます?
…
いけすかなくて
結構だ
もうお前と
話すことも
ないんだからな

ゲッ！ 麻衣
キリカのヤツ やられたのかよ！
麻衣 大丈夫ですか？
大丈夫だ リナは下がっていてくれ
ジェムが ひどく濁っているぞ
任せろ 一刀で 終わらせる
チャキ
ちょちょ ちょっまっ
前 殺す気ないっぽいこと言ってたじゃないですか！
正義マンのくせに 嘘ついてんじゃねーよ！ バカ！
貴女は やりすぎました

許してください
心入れ替えます！
パシリでも何でもしますから！
リナさん…いや
リナ様!!
そうしてくれ
来世でな
イヤアアアアアアアァァァ
終わったあああ！
待ちなさい
！
織莉子さん！
やった！

二対二なら
私一人くらい
逃げられる
なんで
京も
いるの？
京
その魔法少女は
誰ですか？
優木の様子を
見るに
こちら側では
ないようですが

そうです！
黒い魔法少女
キリカの仲間ですよこいつ
つーまーりー美緒さん殺したのこいつですよ！
何…!?
どうしたの？沙々さんそんな荒い言葉を使って
それは捨ておけませんね
今回の襲撃だってこいつが言いだしっぺです
黒幕ですよ！
やめて！

織莉子さんを悪く言わないで！
京・・・？
京 何を言っているのですか
その人は美緒の仇なのですよ
…リナちゃんはいつもそう
風見野の時だって
はじめは悪い魔法少女がいるから気をつけようって話だったのに
リナちゃんが人を集め始めて
気がついたら沙々ちゃんとの戦争みたいになってた
「風見野のため魔法少女の秩序のため」だって

沙々ちゃん追っかけて
見滝原まで来て
何なの？
もう関係ないじゃん
私達は風見野の
魔法少女なのに！
もううんざり
京
落ち着いて
くれ！
優木を放って
おくわけには
いかないでしょう
散った仲間の
ためにも…
そのせいで
私は殺し合いなんて
もういや！
美緒ちゃん
死んだじゃない

リナちゃんの
言ってること
わかるよ？
正しくて
キレイだよ
さっきだって
麻衣ちゃんに
沙々ちゃん
殺させようと
してた
いつもそう
でもさ
傷つくのは
リナちゃんの
周りの人達
一番いい位置にいて
キレイなこと
言ってるだけ
…!!
織莉子さんは違う
自分の悪い所も
認めてる
それでも
自分の
やるべきことの
ために進んでる

かわいそうに…
あなたはこんな惨い戦いの中にいるべきではないわ
そして…
私のことをわかってくれる…
私は…
リナちゃんの道具じゃない!
京! それは違う
私はそんなつもりで仲間を集めたわけじゃ…
美緒ちゃんも双葉ちゃんも
お前のせいで死んだんだっ!

願い？
お母さんから
お姉ちゃんの
記憶を消して
私は
こんなに
いい子に
してるのに
リナのせいで
死んだんだった
なんで

みんな
責めるの…？

ドン

P U E L L A M A G I
O R I K O M A G I C A
s a d n e s s p r a y e r

「新約」魔法少女おりこ☆マギカ
PUELLA MAGI ORIKO MAGICA
sadness prayer

第12話 そんなことは知らない方がいいよ

誰もいない…

歩いても歩いても出口が見つからないし

どうしよう…

そんな…
こんなバカな
ことが…
ひいっ
ひいぃ
いやあいやああ
なんだァ？
なんだ
こりゃあ！
その格好(ナリ)は
何なんだよ！
意味わかんねぇん
だよ！　クソがあっ！
人見リナぁ！

!
全員
伏せなさい！

私は…
ザッ

ただ
魔法少女に
憧れて…
こんなの…

いや…
だぁ……

京…！
優木
貴様よくも…

私だって知らねえよ
バカ！
何でもかんでも
私のせいにするん
じゃねえよ！
やめなさい

つまらない争いで
全滅するつもり
なの？

くっ

悪夢だ

これが現実なら
キュゥべえに
問い質さなければ
ならないな

あのゲス毛玉

くふっ
くふふふっ

ソウルジェムねじ込んで
毛毟った挙句に
犬の餌にして
くれますよぉ～～～～

やっちまえッ！

すまない
くたばれ！
リナ

つそ！
くそったれが！
魔法少女なんてやってられるか！
今すぐキュゥべえのやつを叩きのめしてやります
ええ
…あんたはどうするんですか
麻衣さん
一人にしてくれ……

そーですか
ま
お互い
運が悪かった
ですねぇ
まったくだ

どうして
こんなことに…
…
リナ…

京……

美緒
双葉
みんな大事な仲間だったのに
みんないなくなってしまった…

よそ見注意って
言ったよね
な…
なんで
お前が…
「なんで」
「どうして」
「これから」
そんなことは
知らない方が
いいよ

そうか…
そうだな
絶望を知って後悔する程度の願いなら
叶えるべきではなかったたね
待って！待って！
沙々さん

織莉子さぁ～ん
そんなムダに盛った
服着てるから
鈍くさいんですよ～
そうではなくて
幾ら歩いても
駄目なんじゃ
ないかしら
魔女結界を解かないと
外に出られない
でしょう？
あっ
くっふふ
ふっふ～
すっかり
忘れて
ましたぁ
困った
人ね
てへ～
いや～
失礼しましたぁ
織莉子さんの
死体を隠すのに
ちょうどいいと
思いましてねぇ

え？
ドッ
私が気が付かなかった
と思ったかよ
織莉子ォ〜
テメーあの時
笑ってたよなぁ？

魔法少女の「魔女化」
知っててハメたなクソがッ！
やっぱりロクな女じゃねえ！
どいつもこいつも！
私をイライラさせやがってカスでゴミでど〜しよ〜もね〜ですよ！
きゃっ！
ハア？

あ…
ああ…
なんでこんなとこに
一般人が…って
ああ 織莉子の
「おともだち」
でしたっけ
血が…
血がいっぱい出てるよ
その人
早く助けて
あげなきゃ
だめだよ！
あ～？ これ？
ムリでしょ
助かりませんよ
どー見ても
即死ですもん
て いうか
アンタも
助かりませんよ

はい
サヨナラ
ブ
ス

チッ
カッ
ッ

結局

全員
死んじゃった

両断されるってのは
死ななくても
嫌なものだね
そうね
わたしも
潰されるのは
一度限りにして
おきたいわ

も～っ
織莉子は
前に出なくて
いいのに！
いいのよ
それより
キリカ

見えた？

いいや 全く
気付いたら 爆弾があったよ
まどか(あの子)の周囲一帯には 速度低下の魔法を 張ってた
守護者がどんなに 速くても
「見えない」 なんてことは ないはずだよ
瞬間移動か 透明人間か…
どちらでも ないわね
え~っ
じゃあ色々頑張ったのは 全部ムダだったのかい?

いいえ逆よ
見解が確信に至ったわ
そうじゃ！
次の段階に進もうか！頑張るよ！
ええ…

キョウコーー！

あっちのベンチがあいてたよー

じゃそこで食うか

ねえねえ今日のお昼なに？

行きましょう

残さないでちゃんと食えよ

残さないよゆまおなかペコペコだもん！

風見野へ

P U E L L A　M A G I
O R I K O　M A G I C A
s a d n e s s　p r a y e r

ゆま…お前なんて
生きてる価値が
ないんだよ…！
こっちへ
おいで…
こっちへ…
ゆまはまだ
死にたくない
死にたく
ないよぉ
やっ
やだっ
ぎゅ…

第13話
彼女は
悲惨な
末路を
遂げる

織莉子と
おでかけー♪
おっでかけー
おでかけー♪
遠足じゃないのよ?
キリカ
わかってるよ
これが大事な
ミッションだ
ってことはね
あ
食べる?
沙々さんの残した
グリーフシードの
回収

彼女は相当な数のグリーフシードを持っていたようね
キリカ一人ではとても集めきれない数…
それがあれば
わたしも
え〜〜〜っ
ダメ!
戦うのは私一人で大丈夫だよ!
駄目よ
万全の力を以って戦いに挑むことが出来る
守護者の魔法を破るのは一人では出来ない
わたしとキリカの魔法を連携させなければ…

おっ
もうすぐ風見野だよ
キリカ
慎重に行動してね
風見野の魔法少女の多くが
見滝原での戦いで死んだ
狩られることのなくなった魔女達が我が物顔で跋扈しているでしょう
それ…
戦っちゃダメなんだよね？
勿論よ
わたし達が風見野で動いていることをキュゥべえに知られるわけにはいかないわ
魔法少女にも接触しないようにね

おかしいわ
全然それらしい建物が見えないわ
とっくに着いているはずなのだけれども

やめて！
離してよ！
まったく！
こんな子供が
ロクでもない
親御さん
呼んでもらう
からね！

ひっ…

あの
その子
どうしたんですか？

魔法少女の素体？
ええ
そこは風見野ね…
凄まじい魔力の源泉を感じるわ
その少女は
きっと貴方の求める魔法少女になるわ
それは素晴らしいね
しかし驚いたキミはそんな遠くの魔力を感じることが出来るのか
キミの魔法は何なんだい？

わたしはただ見るだけ
観測者に世界を動かす力はないわ
せいぜいほんの少しの助言をするだけよ
だからキュゥべえ
貴方の役に立てる助言をあげたいのよ
世界を救う魔法少女を生み出す貴方に
…
そうかありがとう織莉子
これからも頑張ってね
キュウべえ

その子の名前は…
ああっ コラ 待て！
うわああああああん！
あーらら逃げちゃった
あなた達あの子の知り合い!?
はあ？
知らないよあんなちび！
それより織莉子に大声出さないでよ！

ギロッ
ギャー
ギャ ギャ

大漁大漁
しかしどうなってんだ
この町は
魔女がうようよ
してやがる
まあ取り分が
増えるのは
いいけどさ
ゆまー帰るぞー
しーん

ゆまーっ！
おーい どこだー
ゆまー
きょっ
きょきょ
キョーコ おおお～
うわーん
ったく どこまで 逃げてんだよ お前
これ・・・ あげる・・・
POCKY
ス
ん？ どした
キョーコ あのね！

お前・・・
これ
どうしたんだよ
キョーコ
これ好きだよね？
あげるっ！
・・・
ゆっ
ゆま一人で
できたんだよ
ほんとだよ
すごいでしょ！
バレて
逃げてきた
ってとこか

ご…
ごめんなさい…
つ…
つぎはじょうずにやるから
失敗しないから

ぴ
ひゃん！
ぺ
そうじゃねえよ
バーカ
背伸びすんな
一人で生きてく
方法はちゃんと
教えてやる
一人前になるまで
一人で勝手に
動くんじゃねえよ
どーせとっつまかって
大泣きしたんだろ
ゆまはすぐ
べそかくからなー
そっ
そんなこと
ないもん！
ゆま
泣かないもん
強いもん！
泣いてる
じゃねーか

泣いてないぃ
キョーコの
ばかぁあ
あ〜
はいはい
早く帰ろ
疲れちまったよ
うん〜〜〜
がえるうう
ぴし
ワ
ン

久しぶりだな 寿美
何言ってるの 兄さん 私のこと 避けてたでしょう
まあ 私もだけど
兄妹揃ってたら 悪目立ちするもの
あんなことが あった後じゃ
久臣は よくもやってくれたわ
美国の名も 堕ちたものね

下らん
「美国」なんてのは ただの名前だ
名前の優劣なんぞ
「赤と青は どちらが優れた色か」なんて言ってるのと 変わらん
先祖の大成での 家の歴史なんぞは 成したそいつが 偉いんだ
名や家が偉いなどと 言う奴は頭が悪いん だろうよ
兄さん…
家長が そんなこと言って… 父さんが存命だったら 大変なことに なってたわよ？
家長だからだ
名は周りから見れば 煌びやかかもしれんが
いざ飾られる立場になったら こんな下らんものに 縛られるのかと呆れ返るぞ

囚われすぎだ
お前も
久臣も
…兄さん
久臣のこと
悔やんでいるの？
後悔などしていない
久臣は自分のやりたいように
私は自分のするべきことをした
私はあいつに
怒りも失望も
哀れみも
抱いてはいない

ただあの子には
今私達が何を言ってもあの子には響かないだろうが
聡明な子だいつか自ら気付くだろう
そうなって欲しくないものだ
織莉子ちゃん
兄さんは相当買っているようだけど
私はあの子
怖いわ

怖い？
あの子に初めて会ったとき
普通の年相応の子供だと思った
でも次に会ったとき
あの子はもう
子供の顔じゃなかった

織莉子〜
なんでむくれてるの〜？
悲しいよ
君を不機嫌にするゴミは誰なんだい？
全部私が切断するよ！
えっ
わたしそんな顔してた？

…
どうせ彼女は
悲惨な末路を遂げる
へ？
何でもないわ
早く事を成して
しまいましょう
あれは
ただの
わたし達の
目的を脅かす
ものではないわ

P U E L L A M A G I
O R I K O M A G I C A
s a d n e s s p r a y e r

最後まで読んでいただき
ありがとうございました
次回から風見野編です
次巻もまたお付き合いいただけたら
嬉しいです

《初出一覧》
・まんがタイムきらら☆マギカvol.17～22
・描き下ろし
本書は以上の内容を収録いたしました。

[新約] 魔法少女おりこ☆マギカ
sadness prayer　第２巻

原案：Magica Quartet　漫画：ムラ黒江

電子版発行日：2016 年 1 月 15 日
発行人：東　敬彰
発行所：株式会社芳文社
東京都文京区後楽 1-2-12